

研究課題名 胆管浸潤陽性進行胆嚢癌の臨床病期診断および外科切除有効性の検討に関する情報公開

1. 研究の対象

1996年1月1日～2018年12月31日に当院消化器外科1で胆嚢癌に対し切除を受け病理組織学的にステージ3期と診断された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的

胆嚢癌においては外科的切除が根治を期待しうる唯一の治療法です。この病気の切除率を向上させるため、癌が胆嚢を越えて隣り合う胆管へと癌が及ぶ（浸潤する）症例に対して、肝臓を切除する術式や臍頭十二指腸切除といった拡大切除術式が本邦の専門施設を中心に適応されてきました。当院は同疾患治療において世界をリードする施設であり、このような郭泰切除術式切除術後の安全性・有効性を検討し、発信することは胆嚢癌の切除適応をさらに広げることになり、同疾患の治療成績向上に役立つことが期待されます。

方法

対象となった方を術前病期診断、式別の術後の経過やその後の経過を電子カルテの情報をもとに調査し、比較検討します。

研究期間

実施承認日～2022年3月31日

2. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、退院後の治療経過の情報、腫瘍マーカー、放射線検査画像、画像診断レポート、病理診断レポート、手術記録、医師記録、看護記録、入院経過表。

3. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研

究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学講座

電話：052-744-2222

水野 隆史

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学 水野 隆史